

## 川崎本社に開発力強化を目的とした新棟を建設 社内外の知の融合により新たな価値を創出する拠点

当社は、部門間シナジーとオープンイノベーションを推進し、社内外の知の融合による新たな価値創出の取り組みを強化するため、川崎本社敷地内に「技術研究棟」(仮称)を建設します。2018年4月に着工し、建設費約54億円を投じて、2019年6月から業務を開始する予定です。

当社は2007年から川崎本社、中国、タイの各開発拠点を順次拡充し、空調機の開発力強化を進めてきました。現在、中期経営計画の達成に向けて、空調機の「開発体制の革新」と「営業活動の強化」を両輪とした諸施策を進めており、この一環として「技術研究棟」を建設し、コア技術となる基盤技術の強化と新たな価値創出への取り組みを加速していきます。

「技術研究棟」では、技術者同士が自然に交流して新しいアイデアを語り合えるよう、4・5階の執務エリアに吹き抜けの中層階を設置するとともに、関連部門が素早く集って開発課題を討議できるミーティングコーナーを執務スペースに点在させるなど、活発なコミュニケーションを生み出すレイアウトとします。また、新しい技術動向を踏まえたディスカッションや技術伝承などのための研修スペースを複数設置します。これらを仕切りのないオープンスペースとすることで、興味や関心のある技術者の自由な参加を促し、部門間のシナジーを誘発させてイノベーションを促進します。

また、当社製エアコンを軸として、チラーやエアハンドリングユニット等、他社製品と組み合わせた業務用空調システムの研究・機能検討等の専用スペースや、外部企業と共同使用の工作室等を設置することで、社外の技術や知識とのコラボレーションによるオープンイノベーションの推進も強化します。

さらに、開発プロセス革新と新しいテクノロジーの実用化を促進するため、世界各地の設置環境や実際の多層階家屋など、空調機の実使用環境を再現できる設備も導入予定です。

当社は技術者の発想力、技術力、知識の向上を図るとともにオープンイノベーションの推進により、新たな価値創出の取り組みを強化します。



技術研究棟(手前) 完成予想図

お問い合わせ先

報道関係：広報IR室 <https://ssl.fujitsu-general.com/jp/contact/news.html>

## 建屋の概要

- 建築計画：2018年4月着工、2019年6月竣工
- 建築面積：約 4,800 m<sup>2</sup>
- 延床面積：約 21,000 m<sup>2</sup>
- 建築規模：5階建て
  - 1～3階 各種試験室、研修室、作業スペース等
  - 4～5階 執務室、作業スペース、研修スペース等
  - 4階渡り廊下で空調技術棟へ往来が可能
- 執務室最大収容人員
  - ：約 1,300人
- 建設費：約 54億円

## 部門連携と知の融合、オープンイノベーション推進などで新たな価値創出のための主要施設(予定)

### 1. 部門間連携と知の融合により新たなイノベーションを促進する施設

- ①「イノベーション・ステップガーデン」(仮称)  
上下階の執務席から集まりやすい中層階を活用した打合せスペース
- ②「サテライト・イノベーション・ガーデン」(仮称)  
執務スペース内に点在する少人数用の打合せコーナー
- ③「イノベーション・テラス」(仮称)  
植栽の点在するリラックスした広々空間で、大人数から少人数までの打合せに対応したスペース
- ④「イノベーション・キャンパス」(仮称)  
新技術の動向を踏まえたディスカッションや技術伝承などを行う研修スペース

### 2. オープンイノベーション推進のための施設

- ①業務用空調システム研究・検討スペース  
チラー、エアハンドリングユニット、温水ユニット等、当社製エアコンと接続・連動した業務用システムを技術者が体感しながら研究、機能検討を行える専用スペース
- ②外部企業と社内設計者との共用工作室・検討室・研修室  
社外の技術や知識とのコラボレーションのためのスペース

### 3. 基盤技術の研究開発力向上のための設備

- ①「多目的環境試験室」  
極寒から高温まで、世界各地の設置環境を再現(設計検討段階で信頼性向上の検証強化に活用)
- ②「多層階家屋環境試験室」  
多層階の家屋を一軒まるごと試験室内に設置(新たな空調空間を創造する技術の実証実験に活用)

以上